

m a e n o h a

maekawa living magazine まえのは

2023

—
秋
冬
号

空。水。風。白岩を醸す。



グラセ マチユ

立山町白岩／
株式会社 白岩 ポスピタリティマネージャー

あのひと
の暮らし

訪ねた人：南部 朋和

株式会社 コノカ 専務取締役



アッサンブラージュという技法を用いて造られる「IWA5」は、香りや余韻の絶妙なバランスが魅力。

白岩のテロワールが 新しいストーリーを紡ぎだす。

富山では、この土地ならではの歴史や風土を受け継ぎながら、日々、新しいまちの魅力が創り出されています。前川建築のスタッフが、仕事や暮らしの中で出会った魅力的な方たちをご紹介しますこのコーナー。第5回は、立山町白岩にある日本酒メーカ

ー「白岩」のホスピタリティマネージャーを務めるグラセ・マチユさんを、コノカの取締役を務める南部朋和が訪ねました。

青空、白い雲、樹々の緑にすんなり溶け込む「白岩」の酒蔵。大きな屋根が印象的なその建物を背にすれば、目の前に青々とした田圃が広がる。遠くには富山湾と立山連峰、晴れた日には能登半島まで見渡せる。ひとつの視界に海と山の両方が入り込む場所は、富山県内でも非常に

珍しいそうだ。

酒蔵は、シャンパーニュメゾン「ドンペリニオン」の元醸造最高責任者であるリシャール・ジョフロワ氏が創立し、建築家・隈研吾氏が手がけた。屋内では、美しいロケーションを持つ土地の名に由来にした日本酒「IWA5」が造られている。ジョフロワ氏が日本酒の高いポテンシャルを確信したことに始まり、今や世界のトップレストランで提供されている高級酒である。そのお酒の魅力をより深く伝えるために、飲食店関係者をはじめとするゲスト対応を行うのが、マチユさんの仕事だ。

酒蔵を案内しながら、酒造りの工程や特徴、創立者の思いなどを流暢な日本語でわかりやすく伝えていく。その後はレセプ



上／白岩の酒蔵は、ひとつ屋根の下に酒造りの部屋とゲストを迎える部屋などすべてを設けることで、日本の伝統的なコミュニティを表していることが特徴だ。その酒蔵をバックに、「創立者のリシャールは、酒蔵を建てるにあたって、ホッとするような美しい景色を求めていたんです。それが立山町でした」と話すマチユさん(右)と南部(左)
下右／五箇山の合掌造り家屋の土間をイメージしたレセプションスペース。氷見市の里山杉をふんだんに使ったシンプルかつ素朴な空間で、飲食店のオーナーやシェフなど国内外から訪れるゲストを迎えている。テーブルやベンチは、白岩川河口にある神社境内にそびえていた1本の木を用いて造られた。
下左／建物内の遊休地を田圃に戻し、地域で初めてとなる酒米・五百万石の有機栽培に取り組んでいる。



「立山町に来て1・2年目は、岩室の滝と尖山に何度も登りましたね」と微笑むマチユさん。



上／仕込みタンクが整然と並ぶこの光景は、1000体の観音立像が並ぶ京都の三十三間堂をイメージしているという。
下／麹室では杜氏のスキルと蔵人の腕でスタイルの異なる麹を数多く作っている。

シヨンスペースでテイステイング。お酒を用意し、「熱燗にしても美味しいですよ。私の好みは35〜40度」と、笑顔で楽しくお酒の説明をするマチユさん。丁寧でありながら堅苦しくない対応が魅力だ。また、ゲストが自身のお店のコース料理との相性を体験できるよう、ランチやディナーを開催する際にもサービスを行っている。

「立山町に来て1・2年目は、日本の全国各地に派遣される仕事に応募。その派遣先が富山県庁だったことが、富山に居を移したきっかけだ。県庁の国際交流員として日本の文化を翻訳・通訳してPRする日々を送る中、当時の富山県知事を表敬訪問した白岩のシャルル・アントワン・ピカール社長と知り合ったことが転機となる。「日本酒も日本文化の一部。言語を使って、多くの人に日本酒を伝えたい」と考えたマチユさん。IWA5のプロジェクトに興味がある旨を伝えたと、とんとん拍子に話が進み、国際交流員を離任後、同社に入社。蔵人から始め、酒造りを学んだうえで現職に就いた。

酒蔵は一般公開していない。だが、完成時には地元の方々に見てもらうために、白岩集落と芦見集落の在住者限定で見学会を実施した。冒頭に記した美しい景観を守るために、地元の協力を得て五百万という酒米の有機栽培にも取り組んでいる。

酒蔵の正面には、見渡す限りの豊かな自然が広がっている。この眺望もゲストへのおもてなしといえよう。時折キツネやハクビシン、キジなども訪れるそうだ。



「地域の方々との交流を大切にしているのはゲストに立山町を紹介するためだけでなく、酒蔵がこの地域に根付いてほしいから。いつかみんなに蔵の名前が知れ渡り、みんなに愛される存在になるといいなと思っています」と熱い思いを笑顔で語る。

3種類の酒米をベースにした「IWA5」は今、アッサンブラージュ3まであり、4は今年の9月に発売される。同じ組み合わせを再現することはないため、希少性も高い。



株式会社 白岩

〒930-3224
富山県中新川郡立山町白岩178番地
<https://iwa-sake.jp/ja/>



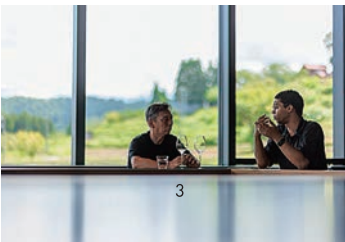
グラセ マチユ
Mathieu GLACET

フランスの南西地方にあるブラクス村出身。米テキサス大学卒業後、2016年から富山県庁の国際交流員として5年2ヶ月勤務した。2021年、日本酒メーカー「白岩」に入社。蔵人としてスタートし、翌年5月からホスピタリティマネージャーを務めている。富山市在住。

IWA5のファンを作った「いいですね」と、地域・ゲスト・同社のすべてが笑顔になることを心がけている。その隣でこやかに話を聞いている南部は、中古リノベーションを通じて、立山町・上市町の資産・資源を生かし、地域の活性化につなげる事業に携わっている。「単にお酒を飲むのと、その背景を深く知ったうえで飲むのでは感じ方が大きく異なりますからね。体験を通してお客様に良さを伝えたり、地元の方々との交流を大切にされたりしていることは、前川建築やコノカとも似ているように感じました」と共鳴する。

マチユさんは、フランスの南西地方、約2500人が暮らすブラクス村で生まれ育った。初めて日本を訪れたのは米テキサス大学の学生時代。日本語に興味を持ち、岩手大学に短期留学した。その時には酒蔵で初めて日本酒を味わうという運命的な体験をしている。大学卒業後は、「日本語がもつとうまくなりた

アッサンブラージュとは、香りや味、余韻、口当たりなどを考えて複数の原酒を造り、それらをうまく組み合わせる技法のこと。オーケストラを指揮する感覚に近いという。ガラスの向こうに広がる豊かな自然が、アートなお酒づくりの指揮者であるジョフロワ氏のインスピレーションの源となっている。





9 September

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10 ごらくマーケット	11	12	13	14	15	16
17	18 敬老の日	19	20	21	22	23 秋分の日
24	25	26	27	28	29 中秋の名月	30

10 October

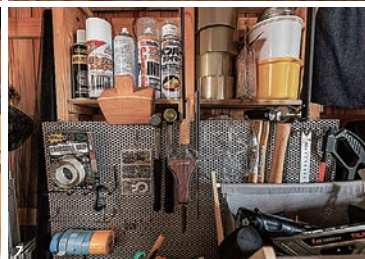
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9 スポーツの日	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11 November

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3 文化の日 MAEKAWA 感謝祭	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 勤労感謝の日	24	25
26	27	28	29	30		

12 December

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



1 眺めのいいLDK。ダイニングの左手前にある椅子がDIY作品。既製品の椅子の構造を参考にしながら、休日に作業をして約3ヶ月で完成させた。 2 道路に面して斜めに建つH様邸。光や風の向き、外部の視線などを考慮した形だ。 3 この日はピーマンやアスパラガス、トマト、オクラなどを収穫。 4 洗面所の空間を有効活用して、長方形の可動棚を制作。扉がピタッと閉まるよう工夫が凝らされている。 5 キッチンカウンターもビフォーの状態に戻せる形で改造し、収納スペースを創出。 6 経年変化が深い味わいを醸し出しているLDKの床。傷すらも家族のいい思い出になる。 7 外部収納の内部も改造。



tips:1

2階の居室への採光を確保するために設けられた小窓には、子どもたちの作品や記念品が並ぶ。ちょっとしたスペースを生かすアイデアだ。

モミジやタモ、アジサイ、キョウなどが植えられた庭を抜け、H様邸のLDKへ。すぐ目に入る大きな窓からは、青々とした田圃から遠くの方々まで見渡せる。一枚の美しい絵画のような光景だ。

「みんなでこの空間で過ごしている時間が楽しいですね」と微笑むご主人。H様邸に暮らしてからお子さんが2人産まれ、3人になった。すると物が増え、必要なものも増えていく。ご主人は奥様の要望に答え、お子さんたちとともにDIYに励んだ。木材店に出かけ、木材を選ぶのも一緒に行ったという。そうして出来上がった家具は、ダイニ

ングの椅子や本棚、洗面所や洗濯機の可動棚など、実に多彩だ。ご主人のDIY好きは、大工だった祖父の影響が大きい。「小学3年の頃、焼杉でゲーム用の台を作ったのが初めての木工で、それ以降もよく作っていました。当時の自分が再燃している感じです」とご主人。その隣で微笑む奥様はここで暮らし始めてから、お子さんが工作した作品を飾るのが楽しくなった。その数々は可愛らしいインテリアとなって、手作り家具とともに空間にしっかりと馴染んでいる。

家族で過ごす空間は、家の中心ではない。外には家庭菜園を楽しめる場所があり、お子さ

んたちと一緒に野菜の栽培・収穫、お手入れなどをして過ごすことも多いそうだ。毎秋のサツマイモ掘りも、家族の恒例行事になっている。また、カーポートでは、近所の方々とバーベキューを頻繁に開催しているという。その隣にある大容量の外部収納も大活躍だ。

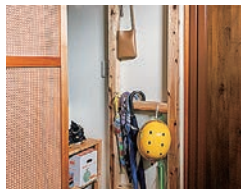
「これからは電力を自給自足する生活を目指しつつ、家庭菜園に力を入れ、外部収納にDIY工房を作りたいですね。あと、屋外にサウナを作ろうかな」とご主人の夢は尽きない。みんなと同じ時間や体験を共有することが、H様邸の新たな思い出になっていく。

Housing Tips

あの家の住まい方

滑川市・H様邸

2017年新築



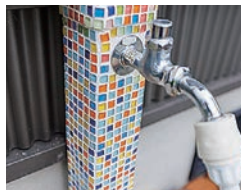
tips:2

玄関には帽子や傘などをかけられる木製のインテリアがある。これもご主人とお子さんの作品。



tips:3

物干し竿を固定する柱も制作。家の柱を傷つけないよう、小口を斜めに切り楔だけで留めている。



tips:4

裏の庭に設置した水栓柱は、お子さんと一緒に小さなガラスを石膏で固めてポップな印象に。

スタッフ紹介

MAEKAWAグループのスタッフに、休日の過ごし方や、お気に入りのモノ・コトを聞きました。

Suegami Naoto
末上 直人

niwanoso 工事責任者



庭づくりに携わるようになり、豊かな自然に恵まれた富山にもっと興味を持つようになりしました。休日にはドライブやツーリングで道の駅めぐりをしていきます。併設されている地場農産物直売所に立ち寄るのが大きな楽しみです。そんなふうには自分の時間を謳歌していますが、月に数回遊びに来る娘夫婦や孫との時間も大事にしています。その時には手料理を振る舞うことが多いですね。これからは、ニワソでの経験を生かして、グリーンに囲まれたガーデンルームを自宅に作りたいなと思っています。



お気に入り

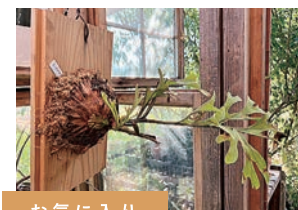
このバイクでツーリングをする時には、複数の道の駅をつないでルートを作ることが多いので、地場農産物直売所に立ち寄る機会も増えていっています。

自分の時間も
家族との時間も
とにかく楽しく

Doi Michihiro
土井 道宏

大工

新築祝いで植物をいただいたのがきっかけで、すっかりハマってしまいました。どの植物を見ても唯一無二のフォルムが魅力的ですよ。休日には水やりや植え替えを楽しんでいます。好きな場所は富山県中央植物園。いつかは、県外の植物園めぐりをしたいなと思っています。普段は一人の時間を大切にしています。が、実は最近黒色の豆柴を飼いはじめまして。この子にも夢中になっています。仕事では「何事にも嘘をつかない」とが私の信条ですが、動植物はいつもありのままだから惹かれるのかもしれない。



お気に入り

グリーンにハマって7年が経ちました。杉の床材に取り付けたピカクシダが特に気に入っています。鹿の角のような葉の形がたまらない。

嘘をつかない
動植物に
囲まれて


一般的な住宅の壁紙として使用されているビニールクロスの汚れは、中性洗剤や市販の専用クリーナーで落とすことができます。一方、前川建築のお住まいで使っている通気断熱WB工法専用クロスのコットンクロスは自然素材なので注意が必要です。今回は優しく汚れを落とす方法のご紹介です。

【用意するもの】
□ 漂白剤(キッチンワイドハイター)
□ 綿棒

【汚れ落としの手順】

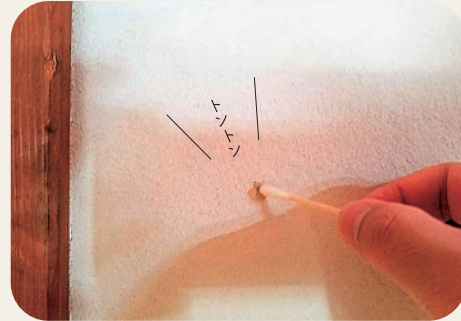
- 1 漂白剤と水を2:8の割合で混ぜる。
- 2 綿棒を①に浸す。
- 3 汚れをピンポイントにトントンする。

【注意ポイント】

※汚れがある箇所だけトントンしてください。周りまで広げてしまうと、かえって白目立ちする場合があります。

※漂白されるまでに少し時間がかかります。完全に乾いても、まだ汚れが目立つ場合はさらにトントンしてください。

※目立たない部分で試してから作業を行ってください。


おうちの
お手入れ

汚れ落とし

コットンクロス編

i n f o r m a t i o n


オーナー様限定
MAEKAWA 感謝祭2023

参加
無料

11/3(祝) 10:00~15:00二部制(予定)

会場：埜の家(前川建築本社よこ)

今年一年の感謝の気持ちを込めて、感謝祭を開催します。今回も、餅つきやワークショップなどみなさまに楽しんでいただける内容を準備してお待ちしております。詳細はDMやLINE公式アカウントにてお伝えいたします。

event

「ごくらくマーケット」開催！

参加
無料

9/10(日) 10:00~16:00

MAEKAWAグループの(株)縁溜が運営する、水橋温泉「ごくらくの湯」で初めてのフリーマーケット、「ごくらくマーケット」を開催します。誰でも気軽に楽しめるワークショップや、ピザや から揚げ、ドリンク、焼き菓子が並びます。お風呂のついでに個性豊かなマルシェを楽しんでください！



詳しくはこちら



「前川建築の家で暮らしたい!」という方はいらっしゃいませんか？

お友達紹介キャンペーン

ご親戚や知人の方で、新築、リノベーションをお考えの方をご紹介ください。ご紹介いただいた方には、お礼のプレゼントを用意しています。

ご連絡はこちらまで…前川建築 076-462-0611 (担当:前川)

編集後記

建築職体験イベント「こども工務店」を今年も6/18(日)に開催しました。参加されたお子さんたちは本物の道具を使って、職人さんの説明を受けながら真剣に、目をキラキラさせながら作業していて、そんな様子を見られて私たちも充実した一日となりました。その日も暑かったのですが、今年の夏は本当に暑い日が多かったですね。長期予報では残暑もかなり続くとのことなので、皆さまお身体にお気をつけてお過ごしください。



m a e n o h a 2023 秋冬号

2023年9月1日発行

企画・取材・文／まえのは編集部

編集／河岸 素子

写真／松井 洋貴

イラストレーション／おざわ さよこ

エディトリアルデザイン／ワークス

発行／MAEKAWAグループ

〒930-3221 富山県中新川郡立山町四谷尾691-4

Tel: 076-462-0611

<https://maekawa-kenchiku.com/>



表紙写真：酒蔵の内壁。五箇山の和紙職人の手による和紙で、白岩地区の稲穂が漉きこまれている。